

防災

山や崖、川や水路には

・大雨が降ったら
場所身を寄せる

・地震が起ったら

答えはこちらから




防犯

①すぐに
②大きな声で
③必ず警察に通報し、学校にも連絡する。

知らない人がついてきたり、連れていかれそうになったら

誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所には



交通安全

歩いているときだけでなく、自転車に乗っているときも

を忘れないために、どういう場面で自分の行動が危険なものとなるのか、日頃から考えておこう。

※自転車は「車の仲間」です。自分が「加害者」とならないように、交通ルールを守りましょう。

誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所には



3 自分の安全を守る方法を身に付けよう!

どうすれば安全に登校(生活)できるかな?



防災

地震や大雨が発生したときに、状況が変わりやすい場所

例えは...

- 古びていたり、高さのあるブロック塀の側
- 古く、手入れがなされていない住宅の側
- 崖の近く
- 河川敷や水路沿い

大雨

地震



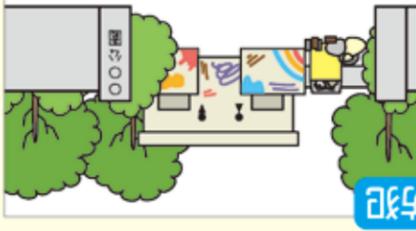
防犯

誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所

例えは...

- 人通りの少ない道路やトンネル
- 人気のなく、外から見えにくい公園や公衆トイレ
- 落書きやゴミがそのままにされている場所
- 空き家と思われる住宅

誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所



交通安全

「飛び出し」が発生しやすい場所

例えは...

- プロップ塀や自動販売機、草木などがあり、見通しが悪い交差点
- 信号機のない横断歩道
- 歩道がない道路、お店や駐車場沿いの道路
- 車と車の間

「飛び出し」が発生しやすい場所



1 校区の危険箇所を知ろう

校区安全マップの使い方

どんな危険があるのかな?



考えてみよう! ~中学生のみなさんへ~

次のような状況の場合に、あなたはどのように行動しますか。

● 登校中に名前も顔も知らない大人に「君はどここの中学校の何年生?」と声を掛けられた。

Answer box for the first scenario.

● 学校の休み時間に、名札を身に着けていない名前も顔も知らない大人と廊下で対面した。

Answer box for the second scenario.

セーフティボランティアさん

通学路や校門のちかくで、みんなが安全に学校に通えるよう見守ってくれています。緑のベストや腕章が目印だよ。



「こども見守り中」の旗

みんなを見守ってくれている人が、街中にいることを知らせてくれています。たくさんの人に旗を掲示してもらえたら、地域の安全安心にもつながるね。

